

環境研究総合推進費 令和7年度中間評価個票

研究課題番号	1-2401
研究課題名	世界を対象とした 1.5℃気候安定化目標下の二酸化炭素除去の選択肢とその含意
研究実施期間	2024（令和6）年度～2026（令和8）年度
研究代表機関名	京都大学
研究代表者名	藤森真一郎

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

本研究課題は、日本を含む世界を対象として長期気候安定化を目指す排出パス、それを実現する二酸化炭素除去技術 CDR の選択肢、およびその社会・経済・環境の含意を 2100 年までの複数の定量的シナリオとして提示する、有意義かつ興味深い手法による課題である。17 の査読付き学術論文を現段階で発出しており、学術的には申し分ない。研究成果の公開についても着実になされ、国際的にも貢献している。環境政策への貢献として想定されるグローバルストックテイク、日本の次期（2035 年、2040 年）排出目標の検討の成果が期待される。ただ、実用に資するためには、本研究のモデルの空間分解能が低く、国内の土地利用状況の反映など、さらに検討が必要である。サブテーマ 1 と 2 は計画以上の進展があり、その連携はこれからのものであるが、互いの影響について分析すると有意義である。報告書に具体的に示されているシナリオ研究成果の示唆は、社会実装に向けて有用であろう。